

釜ヶ崎における越冬についての要望書

要望主旨

- 一、釜ヶ崎の曰雇労働者の人権を尊重すること。
- 二、市民と一く対処し、差別的待遇をやめること。
- 三、東京都のみに越冬の為の特別公共事業を興すこと。
- 四、労働者全員を収容できかつ、生活の保障ができるまで民主的な宿泊所を開設すること。
- 五、病気の労働者を完全に病院に収容すること。
- 六、身体障害者に対する対策を講じること。
- 七、老人に対する対策を講じること。

要望理由

例年、釜ヶ崎においては冬場、十二月、一月、二月の三ヶ月間に求人が著しく減少し、たゞえその意志があつても就労は極めて困難な状況にあります。特に年末、年初の一週間は全く、求人はとたえます。不況のどん底にあつた昨年の冬場は目に余るものがありました。

現在、不況を脱したところものの、求人は、以前の比ではありません。その一方で、食費、ドヤ代をはじめ、諸物価が高騰して、ろにもかかわらず、賃金は、横ばいで、労働者の生活は非常に苦しく状態にあります。これらの事実は西成労働福祉センターの報告がなによりも雄弁に語ってます。

さらに、病弱者、老人、身体障害者の人々は、求人のあるたしかかわらず、就労は困難で常に生活の危機に追いつかれており、困窮する事態が頻繁に発生しています。

られています。現在、これらの労働者の多くは、廃品回収をする一方、労働者自らの手による炊き出しによるからうじで、糊口をしのいでいます。今年の冬は、とりわけ寒さが厳しくと言われる中で、労働者は日々の生活さえ困難で、まとめて貯えるなど不可能なままで正月を迎える厳しい冬と闘つ、ひたすら脅を得つゝがあります。このよくな状態の中で例年、多くの労働者が“青カン”を余儀なくされ、そのうちの幾人が寒風の下で打ちふるえながら、冷たく死んでいます。今年も十二月に入つて、すでに三人の凍死者が出て、ます。一やうの事実は、大阪市当局にあっても周知のことと存ります。一がるに大阪市当局の昨年の越冬対策を見る時、大阪市南港埋め立て地に臨時宿泊所を設けられたとほつうものの、実質は隔離收容所であったと言つても過言ではありません。又、花園公園の使用を禁じ、今まで、今年十一月十五日から翌年二月三十一日まで同公園を開鎖されたことを憂慮に耐えません。

私達は今年の越冬にあたつて、大阪市が、先にかけた頃の対策を速かに実施されん事を強く要望する次第です。尚、これらの要望に対する具体的な回答を来る十二月二十二日までにお願い致します。

一九七六年十二月十五日

大阪市長 大島 靖殷

大阪市 民生局長殿
大阪市公園局長殿

要望代表者

釜ヶ崎協友会

S.ヘイニーリツヒ

大阪市西成区太子一、一十一、十六

奥西キリスト教都市農業問題協議会前島寧南

大阪市北区神山町四十一、四 東梅田教会長付
釜ヶ崎地域問題研究会 小杉邦夫

大阪市西成区範木屋二、五、二三、二、の家

要望支持団体

日本基督教団 玉出教会

大阪市西成区岸松通二、一六

日本基督教団 天王寺教会

大阪市天王寺区悲田院町八

日本基督教団 南住吉教会

大阪市住吉区墨江東八、一

日本基督教団 大阪昭和教会牧師 原田佳卓

大阪市東住吉区山坂町四、三十

右回韓国キリスト教会館

大阪市住吉区中川西二、一、一、十

右回大韓キリスト教会関西地方会社会部

大阪市住吉区中川西二、一、一、十

四字訂正

日本基督教団浪花教会

大阪市東区高麗橋三十二

日本基督教団根津富田教会

高槻市富田町三十七

日本基督教団大阪淀路教会

大阪市東淀川区東淀路町三十六

日本基督教団内松原教会

松原市柴垣一、二、三、六

日本基督教団大阪生野教会牧師近藤善彦

大阪市生野区金剛寺三十九

日本基督教団阿倍野教会

大阪市阿倍野区阿倍野筋五十三

日本基督教団南大阪教会

大阪市阿倍野区阪南町一、三十一

日本基督教団天下茶屋教会牧師石原保彦

大阪市西成区天神ノ森一、二

日本聖公会大阪聖ニニテレ教会

大阪市阿倍野区昭和町三、一、五七

日本自由メソジスト教団大阪東南教会

大阪市住吉区戎孫子東三十三

日本自由メソジスト教団日本橋教会牧師梶田

大阪市南区日本橋筋二、四七

日本自由メソジスト教団布施源氏丘教会

東大阪市守口源氏丘九七、一

財団法人神戸学生青年センター

神戸市灘区山田町三十一

日本聖公会大阪聖マコド教会司祭木村幸夫

大阪市西成区松一ノ文ノ十五

日本基督教団西成教会

大阪市西成区長橋三丁十

日本基督教団大阪北伝道所

大阪市西成区難波茶屋二ノ五十三

日本基督教団東梅田教会大正区伝道所

大阪市大正区南固加島一ノ七ノ二十

在日大韓キリスト教会西成教会

大阪市西成区梅通五丁二